

● 平成 30 年度 交流会 第 5 回 『こどもの内分泌疾患』 ●

講 師：広島大学病院 小児科 坂田 園子先生
実施日時：平成 30 年 11 月 27 日（火） 14：00～16：00
会 場：広島県廿日市第 2 庁舎（西部保健所）
対 象 者：成長ホルモンに関与する内分泌疾患の子どもの家族、
支援関係者、関心のある方
参 加 者：家族 32 名、本人 3 名、保健師 4 名、養護教諭：3 名
保育士 2 名 計：44 名 担当：西部保健所

● 講演内容

- ① こどもの成長について
食生活・運動・睡眠・遺伝など
- ② 低身長と成長ホルモン分泌不全
正しい身長の評価、成長曲線、精密検査
- ③ SGA 性低身長
SGA の要因、日本での低出生体重児の増加
- ④ プラダーウィリー症候群、ターナー症候群
症状、問題点、治療、成長ホルモンの治療効果について
- ⑤ 思春期の異常、その他低身長をきたす疾患
思春期早発・遅発症、甲状腺機能低下症、脳腫瘍、愛情遮断症候群、アレルギー除去食に伴う成長障害
- ⑥ 成長ホルモン治療の実際について



● アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「職場に低身長のお子さんがいるため」「健診時に参考にしたいと思った」「こどもがホルモン治療を始めたので」「同じ病気のお子さんの保護者と話をしたかった」

<参加された方の感想>

「成長曲線をきちんと付けていこうと思いました」
「同じ状況の方と話せて心強くなりました」「先生に色々質問できる機会を頂けてありがとうございました」「保護者の思いを聞いて良かった」



● 相談員より一言

西部地区で低身長についての交流会を開催し、近年にない人数のご家族に参加頂きました。情報不足で治療開始が遅れてしまい、後悔しているというご家族のお言葉は身に染みました。今後も広く啓発の機会を広めるため、講演会の重要性も考えさせられた会でした。

